

令和2（2020）年度

第七十四回 卒業証書授与式

## 式 辞

日を追うごとに陽差しが輝きを増し「春告げ鳥」の美しい名のごとく、ここ「うぐいす台」でも、本格的な春の訪れを感じるようになりました。

国内国外問わず、新型コロナウイルスの影響が甚大な中、本年度始めから「臨時休校」を余儀なくされ、学校生活の常識が一変した一年間でしたが、本日ここに、宝塚第一中学校「第七十四回卒業証書授与式」を挙行できますことを、ともに喜びたいと思います。

さて、3年生の皆さん、

卒業おめでとうございます。

今年度は、一人ひとりに卒業証書を渡すことができるようになり、壇上で担任からの呼名に応じる仲間の、緊張した中にも誇らしげな姿を互いに目に焼き付けたのではないのでしょうか。

この一年、緊急事態宣言による臨時休校に始まり、分散登校から再開した学校生活も歴史的に例を見ないものとなりました。一番楽しみにしていたであろう、学びの集大成としての「沖縄修学旅行」の変更、「体育大会」の代替、そして「合唱コンクール」のできない文化発表会と、異例づくめの学校生活は、身も心も苦しいものだったに違いありません。しかし、皆さんのアイデア

と工夫に先生たちも応えながら新たな集団生活の場を築くため、三年生として見事なリーダーシップを発揮してくれた、とても仲の良い学年だったと感じています。

先の見えない時代と言われている今、皆さんは「当たり前」は「当たり前ではない」ことをしています。

だから、こんなにもたくましく、凛々しく、輝かしく、そして、美しくなった皆さんのステキな笑顔からは、今日もやさしい心を感じるとともに、

まさに

「春を感じ、夏を走り、秋に想い、冬に夢見る」という「感性」豊かな一中学生が育ってくれたことを心からうれしく思い、きっと強くやさしく、ステキな笑顔で人生を歩んでいけるはずです。

さて、先ほど一人ひとりにお渡しした卒業証書は、皆さんが中学校の全教育課程を修了したとともに、九年間の義務教育のすべてを終えた証しでもあります。このことは、皆さんが自らの力で、社会人としての基礎を築いたということなのです。

同時に、この九年間、皆さんを励まし育ててくれた家族の方々の深い愛情のおかげであることを心の奥に刻んでほしいのです。

皆さんが生まれた時から「あなたは本当に大事な命なんだよ。ずっとつながってきた命なんだよ。だから、これからも大切にしなければいけないんだよ」と見守り続けてくれたことへの感謝の気持ちを決して忘れないでください。

晴れの卒業式を迎えた今、皆さんの胸は、未来への大きな希望と喜びにふくらみつつ、同じ時間と空間を共有し、ともに喜び、涙し、励まし合った仲間との別れに感無量なものがあると思います。

そんな皆さんにこれからもつないでいてほしいことを一つお話しします。

「決して、人生をあきらめない。」

先ほど、「皆さんはつながってきた大切な命だよ」とお伝えしました。これからの人生、たくさんの「壁」に出会うことになります。世の中にはどうしても超えられない壁があります。ほとんどがそうかもしれません。しかし、大事なことはどんな大きな壁を前にしても決して逃げないでください。そして、つらくてもしんどくても、逃げ出さずにその壁の前でウロウロしてみてください。皆さんにはまだまだ膨大な時間というものがあります。少しぐらいその壁の前でウロウロしたっていいんです。ウロウロしていたら誰かが忘れていったハシゴが見つかるかもしれません。向こうに行けそうな小さな穴が見つかるかもしれません。そのうち誰かが壁の向こうから手を差し伸べてくれたり、勝手に壁が崩れたりします。ひょっとしたら誰かがヘリコプターに乗せて一気に超えさせてくれるかもしれません。あきらめずにウロウロしていることによって、必ずそういうチャンスに出会えるのです。

大切なことはウロウロしてでも「志」をもって、決してあきらめず逃げ出さないということです。そうすれば誰かが助けてくれる。誰かが見守ってくれ

ている。そういう経験をしていくと、生きるということが素晴らしくなり、今度誰かが壁の周りでウロウロしていたら、きっと何かしてあげたいなと思える心豊かな人になれます。

皆さんが小学校から今まで一人ではなく集団で学習してきたことは、教科学習の力だけではなく、周りにいる人と共に生きる心豊かな人になるための大切な体験活動の連続だったのです。

どうか「人生をあきらめない」人として「志」と「誇り」を持ってこの学校を旅立って下さい。

最後になりましたが、保護者の皆様、心からお子様のご卒業をお喜び申し上げます。しかしながら感染症対策のため、各ご家庭一名のみのご出席となったこと、誠に心苦しく思うとともに、心よりお詫び申し上げます。

中学校生活での三年間、心身ともに大きく成長され、今こうして健やかなる卒業を迎えられたお子様の姿に感慨もひとしおのことと拝察致します。新型コロナウイルスに脅かされ、厳しい社会状況が続く中、日々の不安とともに我が子の激しい変化に戸惑われた方もいらっしゃるかもしれませんが、我々も同じように辿ってきた道。それも、未来を担う大人になっていく兆しとして受け止め、親もまた、ともに成長していくことが求められていると思います。今しばらくは引き続きお子様の状況に応じた適切な関わりを持ち続けていただくようお願いいたします。

それでは七十四回卒業生の皆さん、自分の人生を堂々と、そして誇り高く歩んで行ってください。

最後に目に残る「文字」で伝えたく思い、式場横に自筆にてしたためました。

## 一中を巣立つ 君へ

いま、風が吹いている  
旅立ちに大いなる夢を描き  
わずかに心をふるわせた  
親愛なる仲間とともに

君に、風が吹いている  
生きる力をみなぎらせ  
人へのやさしさを秘めた  
すてきな笑顔とともに

いま、風が吹いている  
世界の変化に惑うことなく  
自らの道を拓く姿と  
感性を磨く心とともに

さあ 高き志と 誇りを 胸に  
悠かなる 世界へ はばたけ！

本校の誇りである一六二人の皆さんのステキな笑顔を期待しています。  
未来を託す皆さんのこれからの道中のご無事を心より祈って、式辞といた  
します。

令和三年三月十八日

宝塚市立宝塚第一中学校 校長 田川隆司